



外壁補修などの

大規模修繕工事が行われています。

事務局長 藤田 信明

工事の着工に至るまで

平成 22 年 11 月に、全国社会保険協会連合会を通じて RFO（独立行政法人年金・健康保険福祉施設整理機構）から、RFO の所有する病院の整備を行うので対象となる工事の調査を行う旨の通知がありました。

RFO が対象とする工事の内容は、外壁補修や屋上防水工事、ボイラーなどの設備工事のうち、建築後の更新年数を経過しており、かつ患者さまや職員の安全を確保するために必要な整備等であって一定金額以上のものに限るといいます。当院は現在の場所に移転新築してからすでに 23 年を経過し、外壁などの建物のほか設備についても老朽化が進んでいたこともあり、調査した結果次の 11 項目の整備工事を行うこととされました。

- ① 外壁改修工事
- ② 屋上防水工事
- ③ 非常放送設備更新工事（1F）
- ④ 自動火災報知設備更新工事（1F）
- ⑤ 中央監視設備更新工事（B2）
- ⑥ 蒸気吸収式冷凍機更新工事（B2）
- ⑦ ターボ冷凍機更新工事（B2）
- ⑧ 空調設備自動制御機器補修工事（B2~RF）
- ⑨ 受水槽・高架水槽更新工事（1F、5F、RF）
- ⑩ 給湯タンク更新工事（B2）
- ⑪ 給湯往・還主管及びバルブの更新工事（B2~RF）

これらの工事について平成 23 年 4 月に RFO に



において設計監理業者の一般競争入札が行われ、その後詳細設計が行われました。そして平成 23 年 12 月に一般競争入札によ

って施工業者が決定しました。

その結果これらの大規模修繕工事は、

- ・ 建築主：独立行政法人
年金・健康保険福祉施設整理機構
- ・ 設計監理：梶建築設計事務所
- ・ 施工者：大成建設株式会社



というスタッフにより、平成 23 年 12 月 13 日に着工し、本年 7 月 31 日の竣工を目指して着々と進められています。

現在の工事の状況

現在は、外壁改修のための調査、屋上防水工事、冷凍機更新工事、自動制御機器や受水槽の更新工事などが行われていますが、そのため騒音のほか玄関通路が狭くなる、窓からの視界が遮られる、クレーン車設置のために地下駐車場が少なくなる、更に地下出入口が変更になるなどの影響が出ています。

これらの工事は所期の目的の通り、患者さまや職員の安全を確保するために必要なものでございましてご理解と御協力をよろしくお願いいたします。

最後に

当院では、これらの工事の他に、老朽化している配管の整備や、省エネのために蛍光灯を高効率の照明器具にしたりポンプのインバータ整備なども行いたいという要望はありましたが、工期が長すぎたり、今回の整備の趣旨と異なるとの理由で認められなかったものであり、これらを院費により整備することが今後の課題となっています。

